

としょかん 100周年

私と図書館

～Vol.9～

2018年12月1日、鹿島市民図書館は100周年を迎えます。

図書館との思い出を募集中！
館内の応募箱またはメールにてご応募ください。
メールアドレス：kashimal@theia.ocn.ne.jp

鹿島市民図書館設置条例に図書館協議会（以下「協議会」という）を置くという規則があります。その協議会は、鹿島市民図書館（以下「図書館」という）が利用者（市民）にとって満足のいくサービスで首尾よく運営されているか、という意見を問う機関です。

委員は、学校、社会教育の関係者、家庭教育の向上に携わる者など（現在7名）で、委員のほかに教育長、エイブル館長、図書館長（事務局）が加わり年度中に3回の協議会があります。委員の任期は2年です。

協議会の協議内容は図書館の運営事業方針、予算決算、図書資料の蔵書動態、利用状況、企画事業などで、それぞれについて提案説明、質問、意見交換が行われます。

今、公営図書館の抱えるいちばんの問題点はIT社会での図書館のあり方と。また児童生徒の本（活字）離れのなかで、図書館の利用を増やし、読書力を回復するために図書館のできること、サービスとは。などで、協議会としても取り組みの大きな課題となっています。

鹿島市民図書館として生涯学習センター・エイブルにオープンして17年、そして今年が鹿島に図書館が創られて100年になります。図書館スタッフ一丸となって努力して、市民の生涯学習の拠点として、市民のニーズに対応できる図書館を目指して日々進化しています。

協議会のメンバーも本好き、図書館好きな人たちで、私もその一員として、また本を読み図書館を利用することで楽しい、愛される図書館づくりの勉強ができればと思います。

鹿島市民図書館 図書館協議会
委員 重富 峻



- 今月のみんと
- 蔵書点検による、長期休館のお知らせ
 - 館長コラム
 - 読書感想文教室（報告）
 - 出張としょかん in 市民ホール
 - 蔵書印でたどる鹿島図書館のあゆみ④
～学芸部だより～
 - 私と図書館 ～Vol.9～



蔵書点検による、長期休館のお知らせ

大変なご迷惑をおかけしますが、
ご理解とご協力をお願いいたします。

10/1 (月) → 5 (金)

10月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13

蔵書点検とは…

年に一度の図書館の総点検です。図書館の本やCD、DVDなどのすべて資料が、決められた場所にあるか確認します。

また他にも、普段はできない機器のメンテナンスなどの環境整備も行っています。

「猛暑」

今年の全国高校野球選手権大会（夏の甲子園大会）は第100回という節目の大会にあたり、出場校数も史上最多の56校に及ぶそうです。夏の甲子園大会そのものは1915（大正4）年に始まっており今年で103年目を迎えます。しかし、米騒動や戦争の影響で中止を余儀なくされた年があるため、今大会が通算100回目になるわけです。

甲子園大会と言えば、鹿島高校野球部は1960（昭和35）年にベスト4まで勝ち進みました。鹿島高等学校創立100周年記念誌「星霜」には、当時の様子が詳細に綴られています。1回戦の相手は熊本商業。5対3で無事に退けたものの、実は部員の大半が病み上がりだったという裏話があるそうです。甲子園に到着した日に水にあたってしまい、投手を含む多数の部員が寝込んでしまうという災難に遭っていました。元気な部員はわずか3名だったと言いますから、戦わずして負けていたような状況でした。

ところが、「神様が味方した」と記されているように、偶然にも雨が降り続き試合が順延になったお陰で選手の体力が回復したそうです。その後、2回戦平安高校（0対1）、3回戦明石高校（5対2）に勝利し、初のベスト4進出を果たしました。1960年8月20日、鹿島高校野球部は神奈川県代表の法政二高と準決勝を戦いました。法政二高は強力打線で知られ、後に読売巨人軍で大活躍する柴田勲選手を擁していました。熱戦の末に0対6で敗れましたが、翌日の佐賀新聞には「鹿島、悔いなき健闘」と題した、鹿城野球部の健闘をたたえる記事が大きく掲載されました。ちなみに、法政二高は決勝戦にも勝利し第42回大会の覇者となりました。

今年是世界中で記録的な猛暑となっており、国内でも各地で最高気温の記録更新のニュースが報じられています。しかし、鹿島市民にとっては、1960年の夏こそがこれまでで一番燃えるように熱い夏だったのかも知れません。



図書館長 前田英明

開館カレンダー

■■■■ お休み

9月							10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						①		1	2	3	4	5	⑥
2	3	4	5	6	7	⑧	7	8	9	10	11	12	⑬
9	10	11	12	13	14	⑮	14	15	16	17	18	19	⑳
16	17	18	19	20	21	㉒	21	22	23	24	25	26	㉔
23	24	25	26	27	28	㉖	28	29	30	31			
30													

※ 10/1（月）～5（金）は蔵書点検のため、休館します。

● 開館時間 ●
平日：9時30分～19時
土日祝：9時30分～17時

● おはなし会 ●
会場：館内おはなしの部屋

- あんころもち（0～3才）
火曜 14時～
- おはなし会（3才～）
土曜 14時～

としょかん日記

「私と図書館」には、懐かしいという言葉と本が好きという気持ちがたくさんあふれています。心に残る一冊に出会えるよう、生活の一部の図書館になれるよう盛りあげていきます！

これからも応援よろしくお願ひします。

★「私と図書館」へのご応募は、まだまだお待ちしています♪

(M)



鹿島市民図書館
一般財団法人
鹿島市民立生涯学習・文化振興財団
佐賀県鹿島市大字納富分 2700-1
鹿島市生涯学習センター エイブル
http://www.library.city.kashima.saga.jp
Tel (0954) 63-4343
Fax (0954) 63-2217
2018年8月25日発行



QRコード

読書感想文教室を行いました！ (報告) 2018.7.26(木) エイブル3階



永池 まち子先生 (1・2年生)



峰松 三和子先生 (3～6年生)



ブックトークの様子 <<1・2年生>>



<<3・4年生>>



<<5・6年生>>

7/26 (木) 10時～12時に行われた読書感想文教室。前半は、講師の先生に読書感想文の書き方のコツを教えてくださいました。子どもたちは真剣な表情で聞いていました。後半は、図書館スタッフによるブックトーク。読書感想文におすすめ本を紹介しました。これで夏休みの宿題もバッチリできたことでしょう！



出張としょかん
in
市民ホール
市役所1階市民課前

本100冊を携えて、図書館から貸出の出張を始めました。図書館カードのない方には、その場で作成します。市役所にお出かけの際は、ちょっとのぞいてみませんか？

毎月第1・3金曜日
12時～13時



蔵書印でたどる鹿島図書館のあゆみ ～ 学芸部だより ～

第3回「鹿島町図書館蔵書印」

藤津図書館は藤津郡教育会によって運営されましたが、藤津図書館の経営は歳出の三分の一を占めるほどの重荷でした。教育会は補助金を獲得して、辛うじて図書館を運営しますが、ついに、昭和6年(1931)に鹿島町に建物や蔵書を譲渡します。



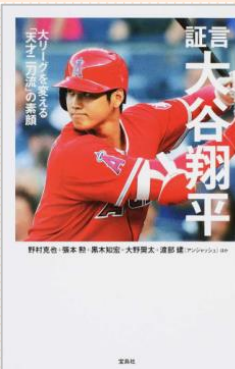
これにより、図書館の経営主体が教育会から鹿島町に移行しました。図書館の経営が町村に移行するのは県内に共通する傾向で、東松浦郡教育会図書館が唐津町図書館に、杵島郡教育会図書館が武雄町図書館に移行しています。また、多久や伊万里で町村立の図書館が設立されました。

鹿島町図書館は昭和18年に創立以来の所在地である高津原の柏から柳籠(東町交差点前)に移転しました。戦時下でも、活発に利用され、ささやかな心の休憩所としての役割を果たしていました。

なお、鹿島町図書館時代の蔵書印は、当初、「鹿島町立図書館之印」が用いられていましたが、のち「鹿島町図書館蔵書印」に変更されています。

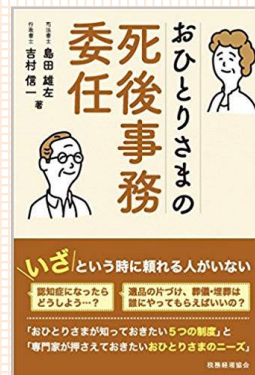
新しく届いた本

『証言大谷翔平』



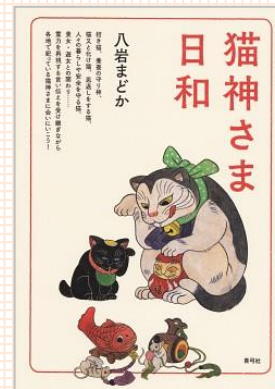
野村 克也ほか：著
宝島社
メジャーリーグでも二刀流として活躍する大谷選手。友人、チームメイト、野球評論家そしてライバルなど、それぞれの立場でしか語れない大谷選手についての証言をまとめた一冊。

『おひとりさまの死後事務委任』



島田 雄左：著
吉村 信一：著
税務経理協会
「成年後見」「身元引受・身元保証」「遺言」「信託」「死後事務委任」。老後が不安なおひとりさまが知っておきたい5つの制度について紹介します。

『猫神さま日和』



八岩 まどか：著
青弓社
全国各地に祀られている猫神さまを訪ね、その歴史や逸話を写真とともに紹介します。佐賀県は、鍋島の化け猫騒動の猫を祀る、秀林寺の猫塚が紹介されています。

『その手があったか！おつかれ晩ごはん』



家ごはん研究会：著
KADOKAWA
ヘトヘトな日のための晩ごはんレシピ&アイデア集。調理や後片付けの手間“ないない”レシピは、「その手があったか！」と目からウロコです。お疲れの日でも手料理を…。そんな方におすすめです。

『むすびつき』



畠中 恵：著
新潮社刊
自称「若だんなの生まれ変わり」という死神が、三人も長崎屋に乗り込んで…。人気シリーズ17弾。途中からでも楽しめますが、最初から読んでみるのもおすすめです！